

○函館漁港船入潤防波堤（函館市）



（施設概要）

- ・函館漁港は函館市の観光名所が集中する西部地区に位置し、活イカなどが水揚げされる漁港です。
- ・船入潤防波堤は明治32年に完成した石積み構造の防波堤で、土木学会の「選奨土木遺産」に認定されています。
- ・建設後100年以上が経過して欠損等があったことから、修復範囲を最小限とした原型復旧工事を行いました。

（見学箇所）

- ・船入潤防波堤

（見学時間）

- ・15分（最短）～30分（最長）

（見学目安人数）

- ・1枠あたり10人/班×1回
（ただし、見学内容・時間は要調整）

（施設までのアクセス）

- ・函館新道函館ICから車で約20分
- ・函館市電 函館どつく前から徒歩5分



○函館漁港船入潤防波堤（函館市）

【駐車場・その他施設】

- ・駐車場：大型バス1台まで可能（見学箇所まで約200m）
- ・トイレ：あり（見学箇所から約300mの公園内）

【観光情報ほか】

- ・漁港周辺には水産加工場直販施設があり、イカの塩辛やコンブの佃煮などを購入することができます。
- ・漁港近郊には、日本最古のコンクリート電柱や道内初の下水道など、多くの土木・産業遺産があります。
- ・近くには、赤レンガ倉庫群が立ち並ぶベイエリアやビュースポットとして有名な八幡坂などの観光スポットがあります。

【注意事項】

- ・防波堤上は、段差や突起物があり、つまずきやすくなっています。
- ・防波堤は幅が狭いため、車いすや歩行に支障がある方は通行出来ません。
- ・安全上、小学3年生以下の見学は出来ません。
- ・大型バスの駐車スペースが限られているため、駐車場所から徒歩での移動となります。
- ・函館漁港内では水産物の水揚げ作業を行っていますので、漁業作業の支障や迷惑とならないようご注意ください。

【位置図】

